

平成23年1月号

vol.36

にしじま通信

編集者 西島由紀恵



今年も残すところ、あとわずかとなりました。

2010年は、みなさまにとって、どんな1年だったでしょうか。

私事ですが、去る12月7日、義母（社長の母）を亡くしました。

非常に男勝りの性分^{しょうぶん}で、先代の女房として、西島木材を切り盛りしてきた人です。

この母がいなければ、西島木材はなかったかもしれません。

8年前、先代が他界してからは、会社に出ることもめっきり少なくなりましたが、仕事での相談は、やはりこの母を頼ってまいりました。

もちろん、ひとつ屋根の下、「嫁と姑」でしたから、いろいろなことがありました。

今思えば、そのひとつひとつの経験が私を成長させてくれたのだと思います。

亡くなる四日前、病室で『由紀恵さん、あと頼むわ。』と言われ、返事にとまどってしまいました。

この言葉を心に刻み、社長（夫）を支え、西島木材を守り立てていかなければと思っております。母がそうやって、生きてきたように・・・。

～ みなさまにとって、平成23年が素晴らしい年で
ありますように心よりお祈り申し上げます ～

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33

西島木材株式会社

リフォームハンズにしじま

西島和之一級建築士事務所

フリーダイヤル 0120-430-150

H・P nishijima-wood.co.jp



ちょっと

……木になるおはなし……

「中国人が日本の森林を相次いで買収」 — (日本産経新聞より)

外国人が日本の森林の買収を進めている。この数年、日本の森林の価格は下落を続けており、今が底値と判断した海外投資家が購入するケースが多い。また、水源として利用しようとする海外企業もあるようだ。

日本の森林を買収する外国人の中でも、特に中国人の動きが目立っている。中国には長江や黄河などの大河があり、豊富な水を有する国のイメージがある。しかし、中国の年間平均降水量はおよそ660ミリで、1700ミリ近い日本の半分にも満たない。さらに、長江や黄河にはそれにつながる支流が少ないため、大地に水が行き渡りにくいといった欠点もある。そのため、慢性的に水不足の問題を抱えている。また、中国の国土は平地が多いため、河川の水の流れが遅く、汚れた水が滞留しやすい。河川の汚染が進む中国では、汚染が水不足に拍車をかけているとされている。中国人が日本の森林の買収に動く背景には、こうした事情がある。

日本は資源のない国だといわれているが、実は森林と水に恵まれた有数の資源国である。そのことに気付いた外国人は、今後も日本の森林の買収を続けるとみられている。これに対し林野庁は都道府県にヒアリングを開始し、情報収集に努めているという。しかし、それだけでは買収を止めることはできない。諸外国のように、外国人や外国法人の土地所有について地域を限定したり、事前許可制をとるなどの制限を設ける必要性がありそうだ。

音の相談会



音に関するどんなお悩みでも、音のスペシャリストがご相談にのります!

日時 平成23年2月19日(土) ※予約制になってます

①10:00～ ②13:00～

③14:30～ ④16:00～

場所 大建 金沢ショールーム
金沢市西念1-2-11

場所は金沢ですが
弊社スタッフが送迎
しますので、ご安心
ください。

お申込みは、リフォームハンズにしじままで、お電話ください。

通話料無料の 0120-430-156

~~~たとえば、こんなお悩みの方へ~~~

「ご近所を気にせず、ピアノの練習をしたい」-8

「大好きな音楽や映画をおもいっきり楽しみたい」